

有馬三山へ

旗振支部単独例会6月29日(土)

松田支部長

L: 奥 武志



夏山登山のトレーニングを兼ねて梅雨の合間をぬって有馬三山に足を向けた。

ここは低山ながらアップダウンの激しい健脚向(番匠屋畑尾根)コース。西国33か所の札所の石仏にそって登って行くと妙見寺に到着。

ここでリーダーの奥さんからこの日のコース説明および注意事項等があり、次の落葉山に向けて、参加者15名で元気に出発。



湯槽谷山山頂

比較的楽なペース、約20分程で落葉山(533.1m)に到着する、ここから南下し高丸への分岐、岩肌の尾根道を快く通過すると本格的な急坂続きで一気に疲労が増しペースダウン。炭形山山頂(819m)に着いた時は汗だく。

休憩し行動食等で充電したのち、また急坂を下り鼓滝分岐通過、長々と続く急坂、階段を登りきるとそこが湯槽谷山(801m)。



そこから湯槽谷峠へ、その時に六甲山系でもほとんど見かけなくなったササユリの群生に遭遇。一輪二輪ではない、何十本もの白やピンクのササユリ・・・疲れも吹き飛び皆カメラを手に、一瞬の癒しタイムを満喫。そこから一気に旧極楽茶屋へ向かう。

気温も30度と暑い!意外に長くくどい道程に足取りも自然と重くなった。最後の急坂に気力振り絞り登り切る。昼時を少しまわった頃、旧極楽茶屋跡に到着。ここでゆっくり昼食タイム。午後は紅葉谷を下り有馬温泉駅を目指し、無事下山。

行程 午前9時 神鉄有馬集合

コース 有馬温泉—妙見寺—落葉山 (533m)
—炭形山 (619m) —湯槽谷山 (801m)
—紅葉茶屋跡 (12時30分) 昼食—紅葉谷道
—有馬温泉・金の湯着 (14時55分)

梅雨時であったが、天気に恵まれ楽しくもしんどいトレーニング終了。ラストは金の湯・銀の湯でさっぱりと汗を流し、解散。